

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009門第46号	
事故等名	油送船第二天正丸衝突(灯浮標)	
発生年月日時刻	平成21年3月16日20時15分ごろ	
発生場所	関門港内、関門航路第35号灯浮標 (概位 北緯33° 59.0′ 東経131° 00.3′)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月30日門司・地方事故調査官が、運航者担当者から事故概況を口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報 船種・船名・総トン数 船舶番号 船舶所有者等	油送船 第二天正丸 749トン 140896 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、丹羽汽船株式会社(船舶所有者)、日新タンカー株式会社(運航者)	
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	右舷船尾部に擦過傷 灯浮標の数箇所に擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、真方位約294°の針路及び約11.0ノット(kn)の対地速力で、手動操舵によって、関門航路を西進中、平成21年3月16日20時15分ごろ、関門航路第35号灯浮標に衝突した。 当時、天気は晴れで、風向は北西、風力は3、波高は約30cm、潮流は早鞆瀬戸で約6knの東流であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は関門航路を西進中、潮流を考慮して、早めに転針せず、関門航路第35号灯浮標に接近し過ぎた可能性があると考えられる。 左舷側から強潮流を受け、右舷側に圧流された可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が航行中、潮流により圧流されたため、灯浮標に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	